

1966年7月、新空港の建設地が閣議決定された。これを受け、京成電鉄は京成成田駅からの延伸により、都心と空港を直接結ぶ「空港新線」を計画。1978年5月の新東京国際空港（現・成田国際空港）開港に合わせて空港新線を開業し、空港特急として「スカイライナー」の運行を開始した。

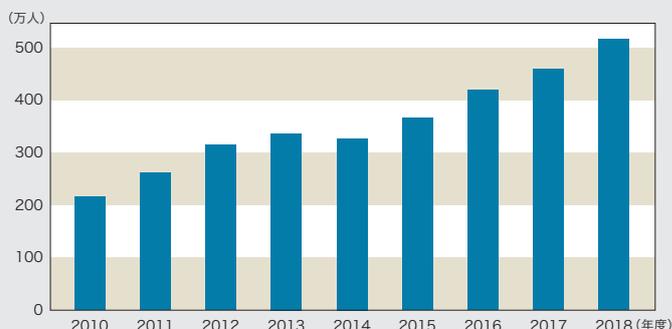
京成電鉄の空港アクセス向上の取り組みは、ここに始まる。

1991年3月には成田空港ターミナルに直接乗り入れ、翌年に空港第2ビル駅を開業するなど、成田空港アクセスの利便性向上と所要時分の短縮に取り組んだ。

2010年7月には、空港輸送を担う新たなアクセスルート「成田スカイアクセス線」を開業。

3代目となる新型スカイライナーが在来線最速の時速160kmで走行し、日暮里－空港第2ビル間を最短36分で結ぶ。「都心から遠い」成田空港のイメージを払拭し、世界標準の国際空港アクセスを実現する――成田スカイアクセス線による空港アクセス新時代が始まった。

■ 3代目スカイライナー利用人員（2010－2018年度）



3代目・新型スカイライナー出発式（2010年）

2000年1月 / 成田空港高速アクセス鉄道B案が運輸政策審議会答申第18号で、2015年までに開業することが適当である路線として位置付けられる。

2000年3月 / 「成田新高速鉄道事業化促進検討委員会」設立。整備事業の検討が開始される。

2002年4月 / 成田新高速鉄道事業化促進検討委員会は、成田新高速鉄道について、建設主体と運営主体を分ける上下分離方式が望ましいと提案。建設主体として「成田高速鉄道アクセス株式会社」が設立される。運営主体は京成電鉄となる。

2004年4月 / 新東京国際空港が「成田国際空港」に改称。



新形式車両 3100 形（2019年）

1990年代

1990年6月 / 2代目となるスカイライナー AE100 形が営業運転開始。

1991年3月 / 成田空港旅客ターミナル地下駅へ乗り入れ開始。新駅名を「成田空港駅」とし、それまでの成田空港駅を「東成田駅」に改称、京成成田－東成田間は東成田線として分離する。また、ダイヤ改正を実施し、スカイライナー全便を日暮里駅に停車させ、日暮里－成田空港間を56分で結ぶ。

1991年3月 / 北総開発鉄道（現・北総鉄道）の第2期線（京成高砂－新鎌ヶ谷間）開業。相互乗り入れを開始。

1992年12月 / 成田空港第2旅客ターミナル開業に伴い、地下に「空港第2ビル駅」を開業する。

1994年11月 / スカイライナー利用人員累計500万人達成。

1998年11月 / 京浜急行電鉄羽田空港駅（現・羽田空港第1・第2ターミナル駅）開業。ダイヤ改正を実施し、成田空港－羽田空港間直通列車を運転開始。

2000年代

2002年7月 / 成田高速鉄道アクセス（第3種）、京成電鉄（第2種）に鉄道事業が認可される。

2006年2月 / 成田新高速鉄道の末着工区間である北総線・印旛日本医大－成田市土屋間10.7kmの着工式が行われる。

2007年7月 / スカイライナー利用人員累計1億人達成。

2008年4月 / 成田新高速鉄道でデビューする3代目・新型スカイライナーのデザイン発表。

2008年5月 / スカイライナー空港輸送30周年。

2009年4月 / 印旛日本医大－空港第2ビル間の新駅名称が公募により「成田湯川駅」に決定。

2009年5月 / 3代目スカイライナー完成披露会を開催。

2009年12月 / 成田新高速鉄道の愛称が公募により「成田スカイアクセス」に決定。



披露された3代目スカイライナー（2009年）

2010年代

2010年7月 / 成田スカイアクセス線開業。3代目スカイライナー営業運転開始。日暮里－成田空港間を36分で結ぶ。

一般列車に、都営浅草線・京急線経由で羽田空港と成田空港を直結する「アクセス特急」を設定。

2010年9月 / 3代目スカイライナーが「グッドデザイン賞」（（公財）日本デザイン振興会）を受賞。

2010年10月 / 成田スカイアクセス線が「第9回日本鉄道賞」（国土交通省）を受賞。

2011年11月 / 3代目スカイライナーが「ブルーリボン賞」（鉄道友の会）を受賞。

2013年12月 / 3代目スカイライナー利用人員累計1000万人達成。

2016年9月 / 3代目スカイライナー利用人員累計2000万人達成。

2018年2月 / 日暮里駅下り線ホームドア供用開始（12月上り線ホームドア供用開始）。

2019年2月 / 空港第2ビル駅下り線ホームドア供用開始（3月上り線ホームドア供用開始）。

2019年3月 / 京成上野駅リニューアル工事竣工。

2019年10月 / ダイヤ改正を実施。スカイライナーの運行本数を約1.4倍に増やし、終日20分間隔で運行。成田空港の運用時間延長に対応し、早朝、夜間の運行時間を拡大する。

2019年10月 / 3代目スカイライナー利用人員累計3500万人達成。

2019年10月 / 成田スカイアクセス線に新形式車両3100形を導入。

